



エネルギー自給自足の推進で『ゼロカーボンシティえな』の実現へ



▲地域新電力「恵那電力」太陽光発電



▲ゼロカーボンシティえな宣言式の様子



▲蓄電池による避難所への電源供給

※上記設備はふるさと納税で設置された設備ではありません

「ゼロカーボンシティえな」宣言

恵那市では、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティえな」の実現に向けた取組を進めています。

市の温室効果ガス削減目標

- ・2030年度に2013年度比46パーセント削減
- ・2050年にカーボンニュートラル

地域の将来ビジョン

「2050年ゼロカーボンシティえな」

～青と緑と太陽と土を生かし、持続可能なまちを創る～



本プロジェクトは、企業の皆さまが自治体の「地方創生」に関する事業に対し寄附を行った場合に、税制上の優遇が受けられる仕組み「企業版ふるさと納税」の対象事業です。

事業費

6,350千円

寄附目標額

6,350千円

対応するSDGsの目標



恵那市はSDGsの達成に向けた取り組みを進めています



ご寄附の使い道

住宅におけるエネルギー自給自足の推進 恵那市住宅用新エネルギーシステム設置事業

「ゼロカーボンシティえな」の実現に向けて、再生可能エネルギーを活用した住宅設備の導入支援に活用させていただきます。

補助対象システム	補助額と主な要件
定置用蓄電池システム	・3万円/kWh (5kWhまで) 最大15万円
次世代自動車充給電システム (通称：V2H、VtoH)	・10万円
太陽熱温水システム	・設置費の3分の1以内 最大10万円
家庭用燃料電池システム (通称：エネファーム)	・10万円

主な事業内容

- 住宅用蓄電池システム設置補助
- 次世代自動車充給電システム導入補助 など

